

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センターB1F  
発行責任者 小泉 いと子  
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623  
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>  
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

コロナ禍で感じる

～障がい者理解の大切さと

さらなる合理的配慮の浸透を目指して～

理事長 小泉 いと子

日頃は、育成会活動にご支援いただきましてありがとうございます。

8月2日より4回目となる緊急事態宣言が再発令されました。皆さまも「またか」「やっぱりか」という気持ちで受け止めていらっしゃる方も多いと思いますが、障がいのある当事者の皆さんを感染から守るため毎日努力されているご家族・支援者の皆さんは心身ともに疲弊されていることと思います。できるだけ早くワクチン接種が進み、感染が収束してくれることを願わずにおれません。

また、コロナ禍の中で改めて障がい者理解の大切さを感じる場面も増えています。PCR検査を受けるにしても、ワクチン接種を受けるにしても、障がい理解のある医療従事者と理解のない医療従事者では対応が随分違うなと感じました。

障がいのある人が新型コロナ陽性となってしまった際の対応でも、保健所の職員さんに障がいについて専門性を持っている方が少なく、支援や配慮が必要な方に対しては健常の方と全く同じ対応をされてしまうといった事例も多くありました。

私たちは、障がい当事者の方々の支援はもちろんのこと、障がい者理解が進んでいくように、社会に向けての啓発活動を進めていくことが大事だと強く感じました。

先日、皆さまにお願いしました長居・舞洲の障がい者スポーツセンターのアンケートに関する記事を目にしました。

全国初の障がい者専用スポーツ施設として開館してから半世紀近くとなり、リオデジャネイロパラリンピック競泳男子100メートル背泳ぎで銅メダルを獲得した当法人会員である、津川拓也選手など、パラリンピック出場選手を多数輩出してきた「長居障がい者スポーツセンター」の建て替えに市議員より異議が唱えられ、利用者から不安の声が漏れているとの内容でした。

大阪府が先進的に取り組んできた障がい者スポーツ施策にメスを入れる思惑とは何なのでしょうか？

開館からの利用者は、延べ1100万人を超えニーズの高さを示しています。

支出を減らすためだとはわかっていますが、代替の受け皿として示された各区のスポーツセンターについても、重度障がい者の方々からすれば、施設の設備や受け入れ態勢も無いことから利用したくても利用することが困難であるという現実があります。

私たち市民の代表である議員の皆さまや、行政の職員の皆さまは、そういった事情についてもきちんと把握し理解したうえで、判断していただければと思います。

障害者差別解消法が施行されてから随分経ちますが、障がい者理解や合理的配慮については、まだまだ社会には浸透していないように感じます。

障がいのある人もない人も共に過ごしやすい共生社会に向けて、これからも皆さんで進んでまいりましょう。

